

●世田谷区脱炭素地域づくりに関するアンケート結果(概要)



調査期間：9月25日～10月15日

調査対象：成城1～9丁目全域、
砧7丁目12・13・15・17番一部
砧8丁目2・13～19・24～26・28～34番

配布数：11,395世帯

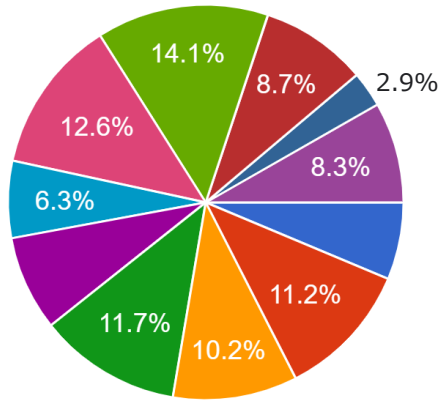
回答数：206件

回収率：1.8%



問1 お住まいの地域はどちらですか。

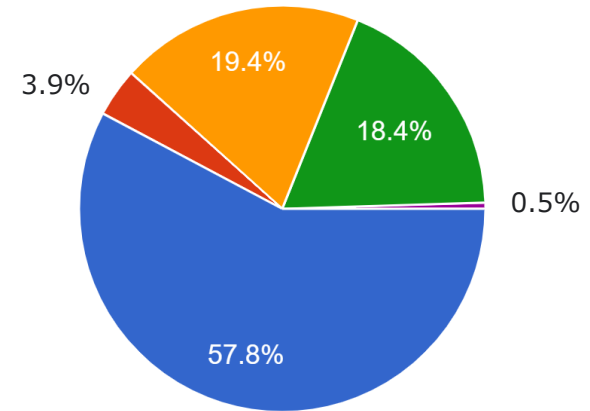
206 件の回答



- 成城1丁目
- 成城2丁目
- 成城3丁目
- 成城4丁目
- 成城5丁目
- 成城6丁目
- 成城7丁目
- 成城8丁目

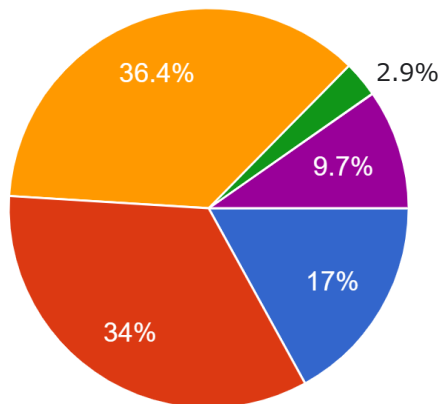
問3 あなたの住居の形態は次のうちどれですか。

206 件の回答



問2-2 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。

206 件の回答

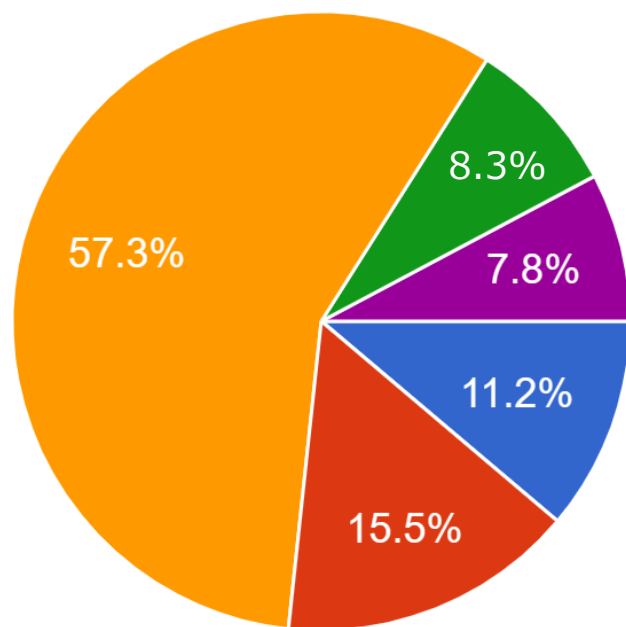


- 単身
- 夫婦のみ
- 夫婦と子供
- 三世帯世帯
- その他

- 一戸建て (持ち家)
- 一戸建て (借家)
- 集合住宅 (持ち家)
- 集合住宅 (借家)
- 社宅・寮
- その他

問4 環境負荷の少ない電力プラン（再生可能エネ...由来の電力プラン）を利用したいと思いませんか。

206 件の回答

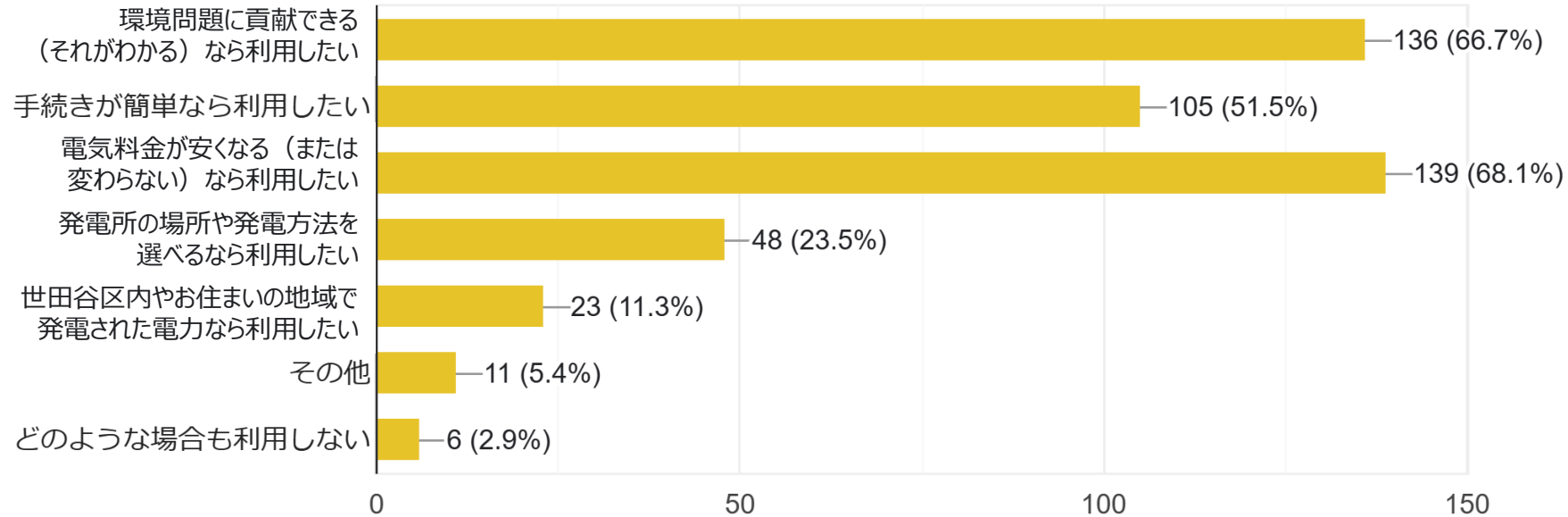


- すでに利用している（再エネ由来の電力プランに切替えている）
- 利用を検討中
- 利用する予定はないが関心はある
- どちらとも言えない
- 利用する予定はない



問5 どのような場合に、環境負荷の少ない電力プランを利用したいと思いますか。
あてはまるものをすべて選んでください。

204 件の回答



「その他」の内容

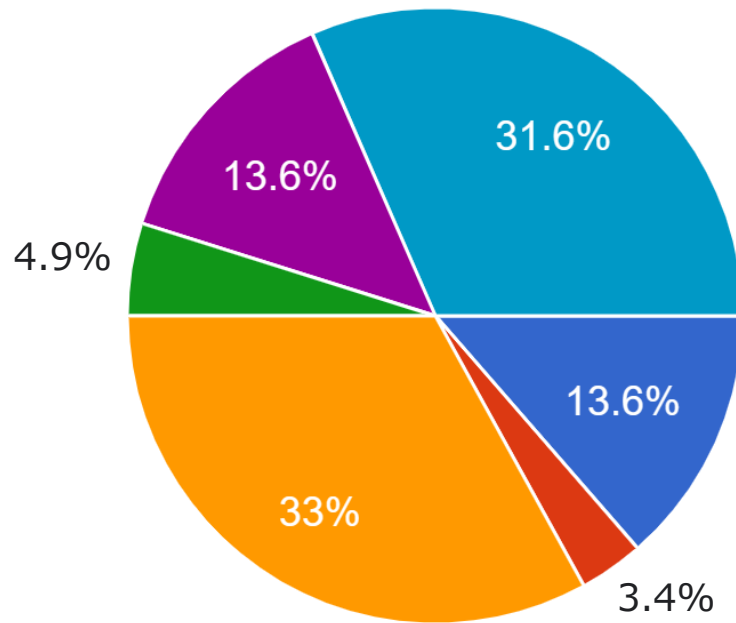
- 低炭素、非常時の電源、購入電力低減
- 災害時などに対する頑健さ
- 原子力発電などを活用して、環境負荷が少なく、電気代が高くないプランがあればよい。
- 地球温暖化による将来への不安
- 安価な電力の安定供給が保証されるなら。
- 都や区が住民に負担無く、整備してもらえるなら、協力する。
- デメリットをちゃんと把握したうえでの利用
- 応援したい企業が関係しているなら利用したい 利用量に応じて何らかのポイントが貯まるなら利用したい
- 安定的に供給され、安価なら検討するかもしれない。 ほか

「どのような場合も利用しない理由」

- 供給安定性に欠けるから。
- 現在の規制料金より値上がりする可能性がある限り、利用しない
- 田舎の原風景に多く設置されてる太陽光パネルを見ると本当に再生可能エネルギーの選択で良いのだろうか疑問に思います。また太陽光パネル自体、リサイクルできず将来的に廃棄物となるということも懸念されます。だからと言って原発にこのまま頼るわけも行かず。答えが出ません。
- 金額が変わらない、もしくは高くなるなら、利用しない。
- 費用対効果が見えないから
- 環境負荷の少ない電力プランとはいえ、先行き何が起る分らない ほか

問6 ご自宅に太陽光発電設備はありますか。

206 件の回答

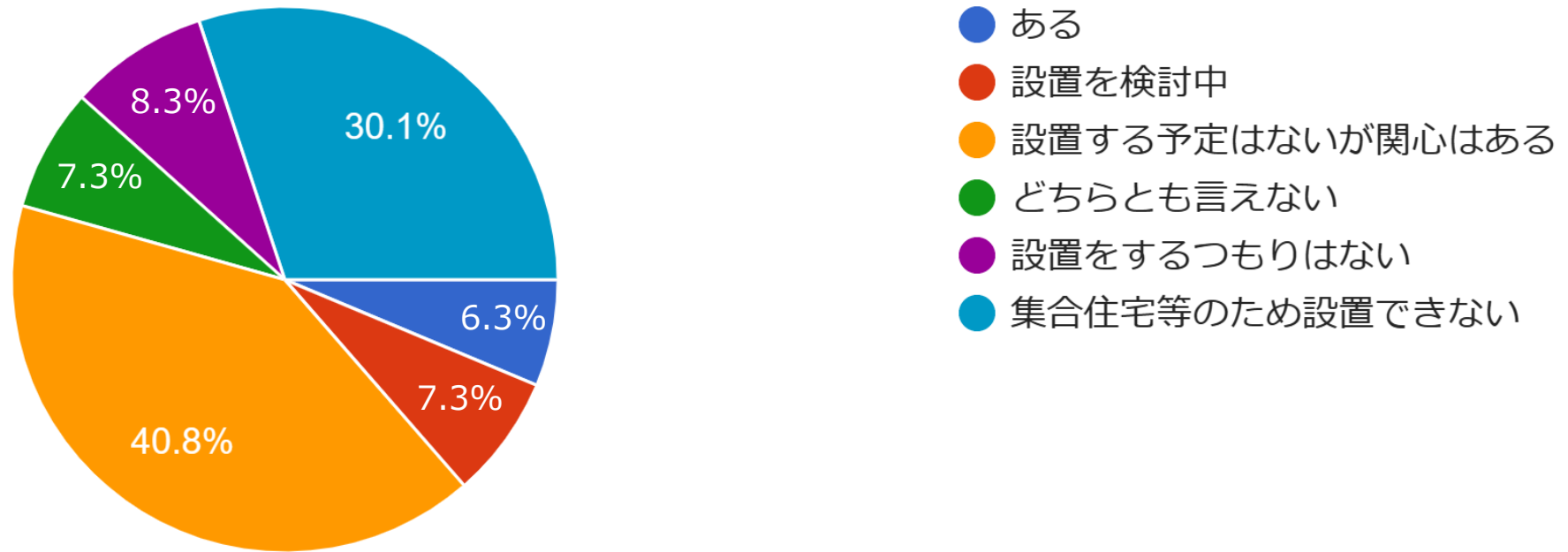


- ある
- 設置を検討中
- 設置する予定はないが関心はある
- どちらとも言えない
- 設置をするつもりはない
- 集合住宅等のため設置できない



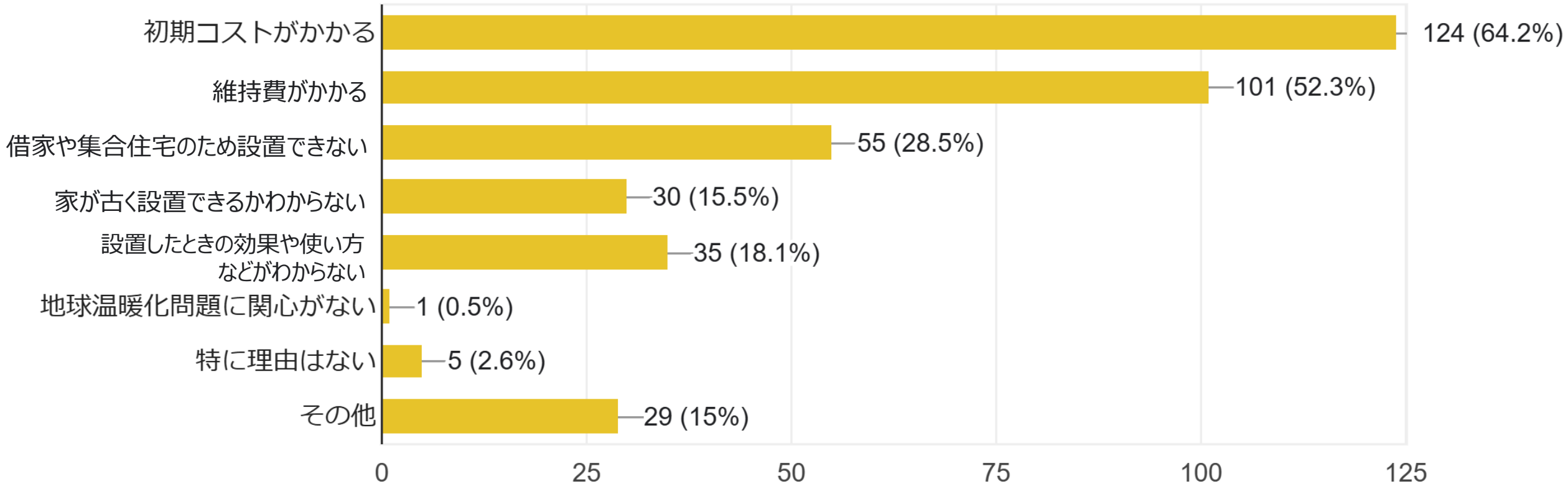
問7 ご自宅に蓄電池はありますか。

206 件の回答



問8 太陽光パネルや蓄電池の設置をした際に気になった点、また設置を検討するにあたって気になる点は何ですか。

193件の回答



<廃棄・リサイクル・環境負荷>

- 破棄するときのことが考えられていない。破棄まで考えたライフサイクルコストで、優位性があることを示すべきだと思う。
- 処分時のコストなどが心配、台風時も心配
- 自然災害等による破損、太陽光パネルは屋根の重量増加に伴う負荷がある。
- パネルや蓄電池のメンテナンスコスト、廃棄時の手間
- 設備が壊れたり古くなったときの修繕や設備更新をちゃんと出来るか
- 機器の耐久性やリサイクルにまだ問題があるのではないか
- 廃棄後のリサイクルが確立されていないとも聞きます
- 太陽光パネルの耐用年数、またその使用済みパネルをどのように廃棄できるのか課題であると考えます。他に風力等選べるのなら考えたい。
- 壊れた時に廃棄方法が確立されていない、廃棄する場合の環境負荷
- 故障、廃棄する場合方法や費用が不明
- 後に廃棄する場合の環境負荷が気になる
- 老朽化した際の廃棄などによる環境負荷
- 将来の廃棄の問題が気になっています。生産から廃棄までトータルで本当にエコなのかを詳しく知りたい。また、モバイルバッテリーのように、劣化によって膨らんだり発熱したりしないか心配。
- 太陽光発電にも寿命があり、廃棄の問題も懸念されているのでこういった自然エネルギーが必ずしも環境にいいとは感じられません。
- 古くなった時の廃棄がかえって環境に負荷がかかるのではないかと心配
- 太陽光パネル製造の際の環境負荷、パネルの寿命、廃棄処分の際のコスト等についてもっと検討する必要がある。
- 太陽光パネルは耐用年数が10年程度でリサイクルが難しい上に水銀などの銃金属も含有していると聞いているので、本当に環境負荷が低いのか疑問がある。



< 設置方法・費用 >

- 投資が5年程度で回収出来れば設置が進むと思われる。
- 初期コストがかからず余剰電力の売電や蓄電池の設置も可能なリース方式であれば、災害時ですとか、電力が逼迫した際にも安心できそうに感じます。
- 事業者が初期コストを負担する方式は住宅所有者が売電できず蓄電池の設置も許可されないモデルに注意が必要と認識しています。（アンケートの当設問冒頭に記載された「第三者保有モデル」に該当する方式だと思われそうですが、もしそうだとしますと区が薦めるモデルとして適切か。）

< 不安要素 >

- 耐用年数、維持費、処分方法、処理費用など、分からない事が多いのが気になる
- 耐久性がわからない
- 木造躯体強度・メンテナンス・破棄コストなどへの不安要素がある。
- 屋根が傷まないか、雨漏りしないか、屋根のメンテナンス時はどうなるのかが心配。
- 雨漏りのリスク、屋根のメンテナンスへの支障

< 住宅環境 >

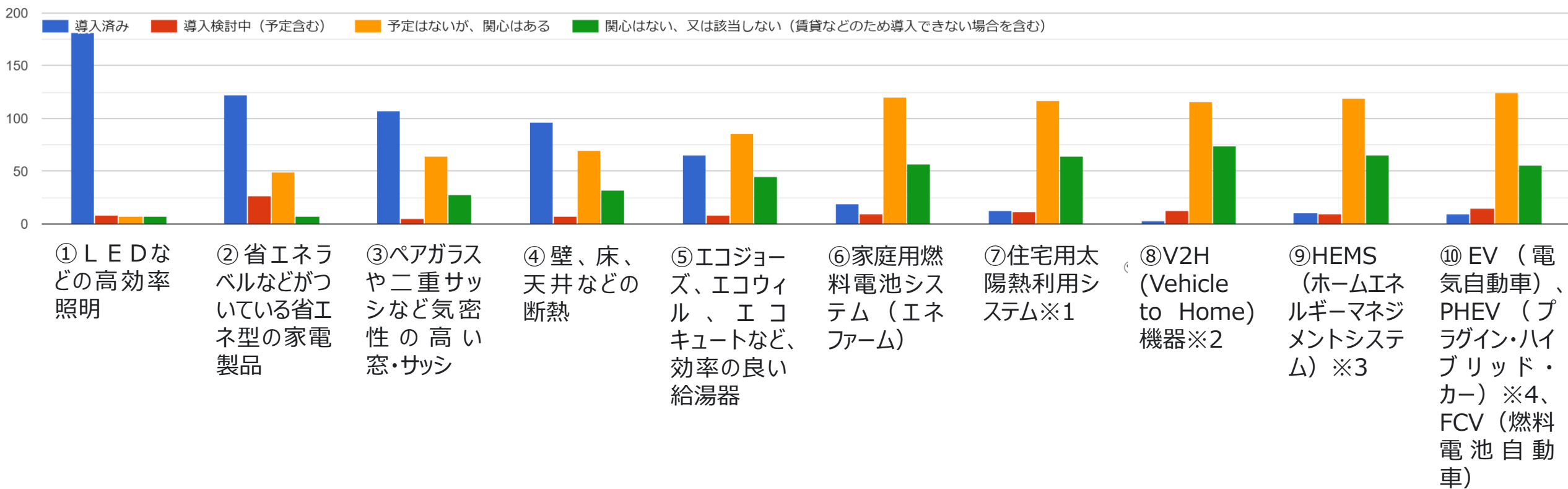
- 集合住宅なので設置できない。
- 集合住宅の為。できるかどうか分からない為。意見として出せばコストが下がるのであれば可能性もありそうなので。
- 屋根の面積が小さく発電量が少ない。十分な設置スペースがない。
- 屋根の問題があり設置できない。

< その他 >

- 中国産太陽光パネルの使用にリスクがあるから。
- 見栄え、デザイン
- 別荘には太陽光パネルを十年以上前から設置しているが、老朽化したときのことが心配です。それと太陽光発電業界と政治との関係性に透明性がないようなのも気になる点の一つです。
- 太陽光パネルは、純日本製を使わない限り、ゴミの処理やメンテナンスで大変な思いをします。現在賃貸ですが、家を持った時にもつけるつもりはありません。東京都の推し進めている太陽光パネルを個人宅にも設置は、個人は不要と判断が出来ます。現状、強制的につけなくてはいけないという理解の方が多くはないか。

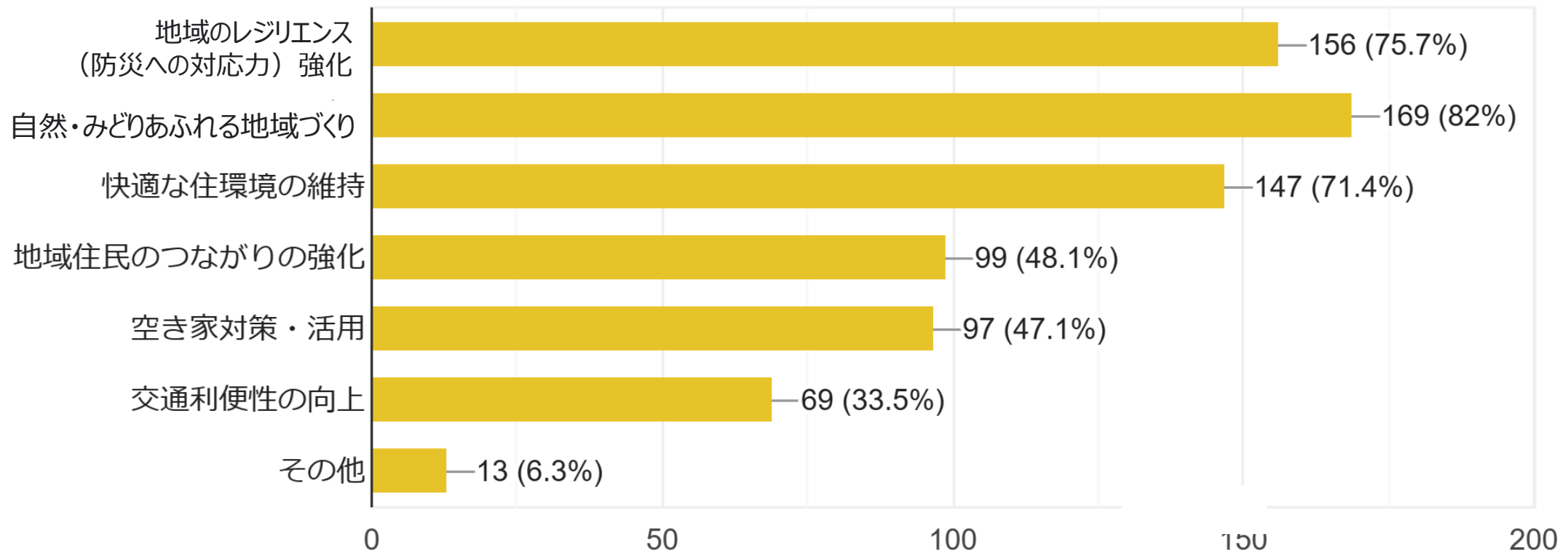


問9 省エネにつながる機器や設備について、導入しているものはありますか。



問10 脱炭素地域づくりを進めるにあたり、併せて取組むべき地域の課題や、将来像は何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。

206 件の回答



回答状況：問10のその他の内容（取組むべき地域の課題）



<防災・災害時>

- 電柱の地中埋設、電柱をなくして防災に強い街にしてほしい。
- スマートシティ、BCP、新エネルギーの開発
- 避難所は「最悪の場合」に行く場所であり、基本的には自宅待機すべきだということやトイレの問題。認知されていない情報
- 災害時に人目につきにくくて緑の多い川沿いをトイレのように使う人が多そうなことを懸念する。

<ゴミ処理・交通>

- 区民の意識、啓蒙。ごみ・食品ロス。
- 道にゴミが落ちています。まずは普通にそこから取り組む必要がある。
- 生ゴミのコンポストは是非とも検討してもらいたいです。
- ゴミ処理（再生紙等）、ガソリン車の規制、公共交通機関の強化と値下げ
- 道路の違法駐車（塾のお迎えなど）による排気ガス防止
- 交通利便性の向上と脱炭素はむずかしい（CO2は減るが電気自動車のみできるのか）

<みどり・街づくり>

- 成城の桜は中が空洞のものや電線にかかっているものも多く、豪雨の後は枝が折れて道路に落ちてることもある。何か起きた時に人がスムーズに通れるのか。
- 脱一極集中 国産木材の需要喚起 林野関連の後進育成
- 新規建築、建て替えの際、植栽量を増やすべき。緑の量が減りつつあるので、成城地区の気温が上昇していることは明らか。
- 世田谷区の財産である大きな樹木が最近大量に伐採されています。環境問題や、緑化を推進するために伐採は極力避けるべき
- 新規開発事業への監督
- 成城憲章の強化見直し
- この地域は大型商業施設が少ないため、用事があると車でそのような場所に出掛けなければなりません。成城近郊にあれば、高齢者、環境にも優しいのではないかと思います。

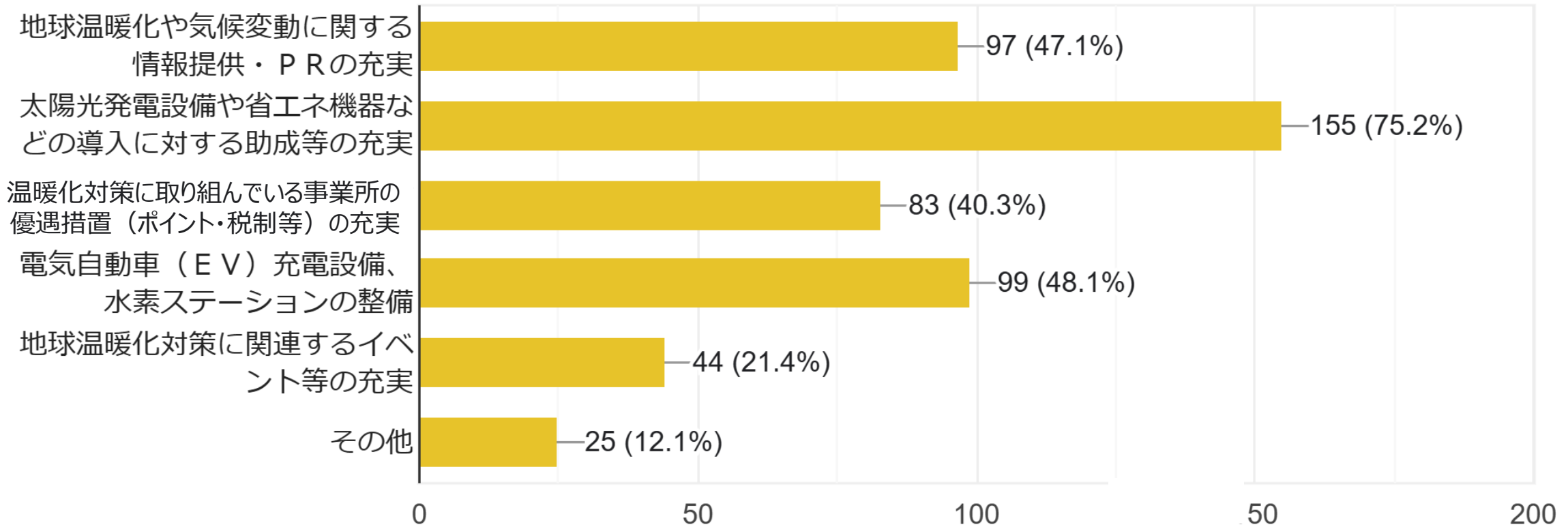
<コミュニティ形成>

- 現役世代（30代～50代）の地域交流と繋がりが無い（少ない）。



問11 脱炭素地域づくりを進めるにあたり、区に期待する支援や取組としてどのようなものがありますか。

206 件の回答



<助成制度>

- 断熱リフォームへの助成制度（特に賃貸住宅の断熱レベルの向上支援、啓蒙）
- 蓄電池への補助金
- 協力する住民への金銭的な補助や負担が無いような仕組みを作るべき。
- 脱炭素地域づくり以外の支援や取組

<みどり保全・緑化政策>

- 国分寺崖線の環境保全。（崖線に沿って緑の環境を残してほしい）
- 街路樹の拡充整備
- 緑化の義務づけや高い塀の禁止など、街並み緑化に向けた建築規制。
- 樹木に対する補助金あるいは固定資産税の減免
- さらなる緑化政策とその重要性を地域に対してPR
- みどりや住環境維持に関わるきめ細かな対応（小規模補助金の充実など）
- 区の公園を人工的なものにせず、自然林や雑木林など生き物が住める、またそれを住民が触れ合える環境にしてほしい。
- 新築住宅の緑化、雨水処理の強化

<環境教育・情報発信>

- 区の施設で率先して導入してもらい、機能性能を区民が見比べて確認できる様な取組
- 急激に進行する地球温暖化の実態を肌で検証するための学習会、環境教育
- 区議や区職員への環境教育

<脱炭素や太陽光発電への懸念>

- 行き過ぎた太陽光発電設備設置の見直し（むしろ環境を破壊しているように見える）
- 太陽光発電などは本当に環境にいいのか疑問。
- 温暖化ばかりに偏った考えだけで押し進める政策には期待は出来ない。
- 脱炭素化は大きいテーマであり、区レベルで税金を使って取り組むべき課題としては優先順位が低い



<その他>

●排気ガス対策

●仙川の河川改修時の水力活用

●成城内を網羅するマイクロバス（水素など）を走らせてほしい

●地球温暖化の大きな原因のひとつが、化学肥料だと聞いたことがある。農薬も肥料も使わない自然栽培の野菜を広めてもらいたい。災害時に自宅で野菜を収穫できれば、食糧面でも安心。

●電線の地中化

●街灯をLEDのキラつきが強すぎる。直接光源が目に入る場合、蛍光灯並みに暗めの方が道を歩きやすい。

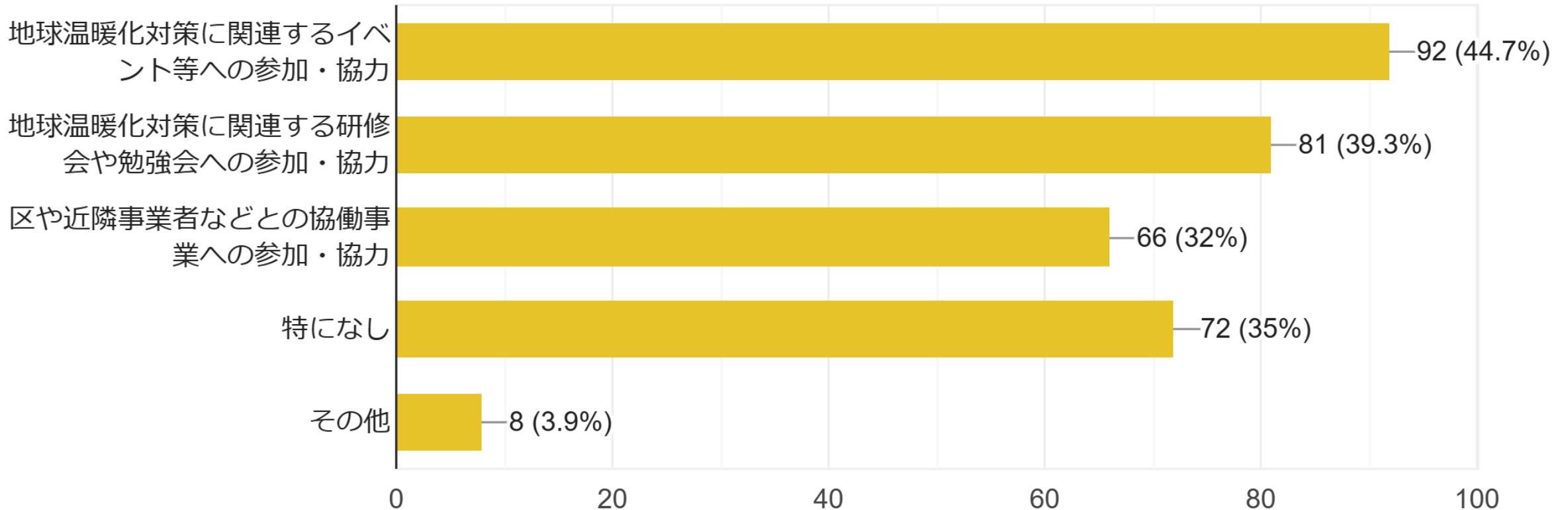
●夏期の猛暑・熱帯化は、経済的デメリットにつながる。偏西風の復活や、近海海流蛇行の改善など、考える地球気候変動を国や都に提案・働きかけてほしい。





問12 脱炭素地域づくりを進めるにあたり、区の事業に参加・協力できるものはありますか。

206件の回答



自由意見

<地球温暖化対策について>

- 温暖化対策はもはや猶予の許されない状況だと思います。区としての積極的な対応を期待しています。
- 次世代、特に今生まれたばかりの赤ちゃん達が大きくなった時に、どうい世界を残すのかは今の大人の責任で、時限爆弾のような課題を遺してはならないと、切実に取り組みの必要性を感じています。
- 地球温暖化対策は、私たちの世代から進めるべき最重要課題です。将来への明るい見通しと、安心した生活を子供たちに残してあげたいです。
- 温暖化への対策は日本では自治体がリードしています。人口の多い世田谷区が積極的に取り組むインパクトは大きいはずで、大胆な施策をおこなうことを応援しています。
- 再エネの導入は地域でまとめてやった方が効率的だし、効果もわかりやすいと思います。街づくりの取り組みと合わせて地域を良くするために、区にはしっかりと取り組んでもらいたい。
- 地球環境を壊している人類にできることを、精一杯やらなくてはならないと思っています。しかしながら、一度手にした快適な生活を手放すことはとても難しく、そのせめぎあいだと思います。危機感を持って取り組まなくてはいけないと思っています。
- 世界規模の問題と言われている中で、個人で出来る事の影響力は小さく微々たるものと言う印象が拭えない。見ず知らずの他人への興味が薄れており、関係性も希薄の昨今に於いて、どう言った事が個人(自分)に関わってくるかを理解し易く訴えるのには限界があると感じる。
- モデル地域を決めて、取り組みを具体的に進めてみることに賛成します
- 世田谷区の助成で特区を作り、区内の二酸化炭素ゼロを目指す
- 地域として実行するには、数値目標、現状値、他世田谷地域との比較が高いモチベーションになり、有効だと思います。
- モデル地区を作るのなら結果を出す必要がある。例えば、民間業者などとも連携したプロジェクトなどで科学的根拠のある数値目標をデータ化するなど出来ないか。
- ひとりひとりが自分事として、認識しないと成り立たない計画だと思います。行政として可能な限りの脱炭素地域づくり、環境整備を、住民を巻き込んでどんどん推進すべき。特に住宅がほとんどの成城地区には、何が出来るのか、今すべきことは？（配布されたチラシだと何がしたいのか、いきなり脱炭素社会、といわれても漠然としすぎて、またなぜ成城地区なのか？唐突で、残念ながら意図がよく伝わらない。）
- 防災を考えた時、駅前などのまちづくりは非常に遅れている。温暖化ばかりではなく、災害対策にきちんと取り組んではどうか。
- トータルな街の活性化に区として取り組むべきです。それが成城を「持続可能な地域」にすることであって、脱炭素という時流に乗って補助金を出すことは成城の持続可能性とは関係ないと考えます。
- 国レベルで取り組む課題。自治体毎で個別に考える課題ではない気がします。
- 国レベルと区の行政の取り組みの整合性、垣根を超えた取り組みができるのかが懸念



自由意見

<地球温暖化対策について> (続き)

- 本当にCO2が原因で地球温暖化が起きているのかも議論したほうが良いと思います。
- 「地球温暖化対策」や「脱炭素」は大切ですが、具体策が太陽光発電や蓄電システムのような「機器の設置」にウエイトを置くことに対しては、本来の意味から離れることもあるかと危惧しております。質の高い、本質的な、世田谷区に相応しい取り組みを切望いたします。
- 設備に頼るばかりではなく、古くからの知恵を用いながら、人間として生き方を考えながら、現在の技術を取り入れる。
- 海外のように商業施設の営業日（年末、週末）を減らす。飲料等自販機の撤去。宅配便の利用削減など。
- 日本の商店や公共施設の照明は、ヨーロッパに比べ明る過ぎる感が有ります。不必要な所はON. OFFを。小さな所から気を付けてほしい。
- 子供の世代のために、今できることを少しでもしていきたい。
- 大きなイベントや講演会よりも、日々の小さな取り組みへの行政からのサポートが大事だと思う。
- 集合住宅でも可能なら対策を考え欲しい
- EVのチャージスタンド設置数を23区で最大規模にしていきたい。
- 区の仕事では無いが化石燃料から放出されたCO2を再び閉じ込める技術の開発が必要。
- 地元に住まう私たちは、従来以上に、身近な問題として、義務を痛感し、環境問題をとらえるべきです。グローバル化とローカリゼーションの視点で。
- 夏期の猛暑・熱帯化への、樹木による緑陰・施設の人工日除け・保水性舗装・保水性ブロック・大規模送風ミスト・散水イベント・送風散水口ポットなどを、もっと、低コストで、目に見えるように、皆で検討していきたいです。
- 個人で対策する場合、悪徳業者に引っ掛からないように区で推薦すること、町内のグループ単位で取り組む等、安心安全な対策をして欲しい。
- 太陽光発電は家の屋根に設置がベストと思う(電気を使うのは人間だから)。薄く曲がるソーラーの実用化に向けて研究している機関も有るので、後押しして早く実現すれば良いなと思う。私は太陽光発電推進者だが、山野にそれを設置するのは反対です。
- 住民一人一人の取り組みが大切だと考えます。又、公立私立に拘わらず、世田谷区の小中学生への地球温暖化対策についての教育を、区としても取り組んで欲しいです。
- 若年層に対する広報の促進、教育現場での理解度の向上
- 太陽光発電の推進はやめてほしい。廃棄の問題があると聞いている。
- 強引な太陽光パネル設置政策には違和感がある、そもそも日が当たらない



自由意見

<みどり保全・緑化政策>

- 景観、SDGSの観点から世田谷区内の樹木を増やしてほしい。
- 国分寺崖線や保存樹木など自然を守り続けること更に力を入れてほしいです。
- 世田谷は都内でも多くの自然が残されていると思います。しかし最近では貴重な大木を次々に伐採したり、公園を人工的な構造にしたり自然環境を大切にしているように思えません。次世代に自然環境の大切さを伝えて行くためにも、ぜひこの豊かな自然を守り、自然林や雑木林を保護して頂きたい。
- 多様な生物が住める環境づくりをしなければこの問題は解決しないと思います。まず緑化と、小さくても森林や多様な生物がいることが必要であることを知っている人々が住まう地域であってほしいと思います。
- 長く生えていた大木を、直ぐに伐採しすぎる。罰則があった方がよい。成長した時間、存在した時間、緑陰とCO2削減した機能はもう取り戻せない。
- 緑、自然の保全は最優先になされるべきだと考えています。本来自然環境豊かな閑静な住宅街であったところですから。また、借家の場合などは、脱炭素地域への取り組みを家主にも積極的に働きかけてもらいたい。地球温暖化は人類全体の問題、環境保全に努めるのは義務だと思います。
- 商業ビル、マンション棟の新築にあたり、敷地の一部に緑化対策（木を植える、芝生を作るなど）を義務付ける指導を。
- 新規住宅は「みどり33」を基本として、できれば地区計画（成城憲章よりも強いもの）をつくる。併せて、参加意識を高める企画を考えてほしい。

ほか多数

<その他>

- 粗大ごみだけでなく服、文房具なども小物も譲れるシステム。ごみを減らす努力。
- 生ゴミの焼却処分を見直し、飼料や肥料やバイオ燃料などに転用する。
- 温暖化を防ぐための商品を販売するお店を誘致する。例えばスプレー缶の代わりになる商品を何種類も置いてある店や、お肉の代替食品の店など。
- 少しでも興味を持ってもらうには、地球温暖化や脱炭素云々よりも先ず、都や区で現在個人や中小企業で取り組みが可能な内容を小冊子等にして配布するなり駅等の公共空間に於いて公開展示をし、少しでも多くの住人に知ってもらう必要があるのではないか。そして興味を持ってもらった上で、導入に対する助成金や長く利用する利点を説明したり、なければ導入して促進しないと、日々の生活にも窮する現代の日本では普及させられないと思う。
- 建物の形にもよりますが、発電システムの横に洗濯物干場も作ることは出来ますか
- 自然エネルギー設備の充実

